

# ま な び や 日黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.40 2015年6月23日発行 発行人 関野祐二  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804  
URL: <http://www.seikei-seminary.org/> E-mail: [covenant-seminary@nifty.com](mailto:covenant-seminary@nifty.com)

---

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。神学校キャンパスには、梅雨時期の風物詩アジサイとアガパンサスが咲き乱れ、裏庭では枇杷が実ったそう。名まえのわからぬ鉢植えの花にも声をかけながら、小雨降る朝晩に門の開け閉めを続ける日々です。西の空には金星と木星が並び、南天には土星、東からは夏の大三角。地元A小学校での星を見る会は梅雨のさなかでも奇跡的に晴れ、新1年生親子を中心に百人も集まって大盛況でした。

「春も秋も夏冬も／空の星も太陽も／声を合わせ語り合う／父の愛の備えを」教会福音讃美歌 40  
校長 関野祐二

## ● 静かになったような... しかし校長走る

さんざネタにされた卒業式と入学式を終え、総勢70名でスタートした2015年度授業も、早や3ヶ月が過ぎようとしています。多少年年齢層がアップしたせいでしょうか、どことなく皆さん静かで大人しいかな、そんな印象です（キャラなのか恐れなのかは定かならず）。授業後の掃除もマジメ（その割には廊下に点々とコーヒーの跡が。誰だ犯人は？）。昼夜クラスの続く午後は、図書室大入り満員（なんと土曜午後も）。木曜夜や金曜夜など、翌朝クラスのためショートステイする方々で寮室がけっこうふさがります。中高年（失礼）神学生が団体で男子寮に宿泊すると、どことなく皆さん楽しそう。ひょっとして近くの銭湯に繰り出しているのかな？ 課題にもめげず、喜び助け合いながら、学びをじっくり継続してくださいね。早朝ここから出勤する人もいますよ。

ところで、師走はとうに過ぎたはずが、神学校関係の慶事でこの年度末年度初めは実にいろいろなところへ出かけました。3月は2週続けて土曜日に卒業生の結婚式、4月は卒業生の牧師就任式、5月は在校生の結婚式と卒業生の献堂式も。人生のひとコマに過ぎないはずの神学校生活をたいせつに考え、招いてくださる心遣いが嬉しくて。往復の電車ではレポート採点に余念なし。

## ● 基礎科にクラスを新設します

在校生にはこのレターと同時発表なので、騒ぎが起こること必至。基礎科「神学英語」を1単位（5回）に減らし、「世界と教会」と名付けた3単位（15回）クラスを2016年度より新設します。担当するY先生の暫定シラバスから引用すると、目的は「神学校での学びの初期段階で、私たちを取り巻く世界の現状を概観することにより、キリスト者および教会の取り組むべき課題を明確にし、学びと訓練の出発点にすること。現実社会に福音を届けるため、どのような福音理解に基づいて、何を学ぶべきかという方向性を見いだすこと」です。いいでしょう！ 内容としては、2010年の「ケープタウン決意表明」に基づき、日本と世界の教会の歴史的課題、人権といのち、福祉、教育、教会と国家、経済、職業、地域と家庭、結婚と性、カルトや異端、被造物の管理責任、他宗教との対話などなどの学び（あくまで暫定なので変更の可能性あり）。専門科「キ

リスト教倫理」で最終年度に学ぶテーマでしたが、それは維持した上で、教会を取り巻く社会や状況が急速に変化する昨今、早い段階から問題意識を持つことがどうしても必要と考えた次第です。すでに他の神学校では同様のクラスが開講されており、資料提供やご協力もいただきました。全体の必修単位数は変わらないので、ご安心ください。あとから特別聴講も可能ですからぜひ！

## ● ブログにゲスト投稿

天文データ共有の必要上、パソコン通信（なつかしい響き！）導入は比較的早かったのですが、世はあっという間にインターネットと携帯スマホの時代。ネットとメールはかろうじて守備範囲内ですが、それ以上のツールは「どうせ情報を管理しきれないから」「追い回されるのが嫌だから」と頑なに拒否しつつも、小さな画面を撫でる指のカッコよい仕草を横目で眺めている状況。ましてや自分から情報発信するなんて夢のまた夢でした。そんな中、昨年11月の全国研究会以来、神学会中部理事長で神学校校長のY r先生とすっかり意気投合、今年5月には中部部会の公開講演会にも呼ばれ（『福音』とは何か、との大それたテーマ）、やれやれと腰を落ち着ける間もなく、今度は「ワタシのブログにゲスト投稿しませんか」とのお誘いが舞い込んだのでした。エッセー風の文章ならと気軽にお引き受けしたのですが、やってみるとけっこう文章に気を使うし、人気ブログ“汚し”では申し訳ないので、これはたいへんだと本腰を入れることに。ご興味のある方は、筆者のフルネームで検索してください（同姓同名の税理士事務所もヒットするので要注意）。神学校学生たちから「読んでますよ」と声がかかり、海の向こうからも「話題になっています」との応援メール。あらためて影響力の大きさに圧倒される日々です。自分のブログ立ち上げは無理でしょうが、天文ネタならいくらでも書けそう。読者がいなければただの独り言ですけどね。

## ● いよいよ着工です

前回のレターで予告した本館1階トイレ改修工事、いよいよこの夏休みに着工です。あれから4ヶ月、設計コンサルタントH氏（クリスチャンです）の導きで、3社見積もりと業者選定にまでこぎつけました。当初の図面では女子用の壁を男子用側に動かしブースを増やす計画でしたが、予算を大幅にオーバー。こんな時頼りになるのが、元建築屋の卵だった運営委員のK先生です。委員会議事そっちのけで、なにやらシコシコ手書きのラフスケッチを。「ハイ、これを設計士に渡して！」と見せてくれたのが、男子トイレの東側にある広い洗濯場の半分にブース2つの第二女子トイレを設ける斬新なアイデア。従来のトイレの壁と配管はいじらずリフォームのみですから、グンと工費節減になります。後日、恐る恐るH氏に見せたら快く図面を引き直してくれました。5月15日午後の3社による合同現場説明会を経て提出された見積もりでは、そのうち1社が射程距離の金額を出してくれ、6月16日の理事会で支援者の皆さんに特別献金もお願いすることを含めゴーサインが出たのでした。男子用の両側を二つの女子用が挟む配置ですから（特別献金のお願い文書に図面あり）、風呂屋のような色違いの暖簾（のれん）が必要かも。暑さの残る、重い足取りの夏休み明けは、爽やかなトイレ環境でお迎えしますよ、在校生と教職員の皆さん！

## ● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 在校生70名、教職員15名の学びと働きが、7月末の夏休み開始まで支えられるように。
- ・ 夏休み中のトイレ改修工事の安全が守られ、予定通り完了して快適に使用できるように。
- ・ 本校の運営が支えられ、主にある献身者育成の使命を果たすことができるように。